

健康・医療の 行動経済学と EBPM

2025年
3月8日 14:30-16:30

弘前大学人文社会科学部4階 多目的ホール

大竹 文雄 (大阪大学感染症総合教育研究拠点 特任教授)

1961年京都府生まれ。大阪大学博士(経済学)。大阪大学社会経済研究所教授、大阪大学大学院経済学研究科教授等を経て、2021年から現職。専門は行動経済学・労働経済学。格差問題の実態と原因を実証した著書『日本の不平等—格差社会の幻想と未来』で日本学士院賞、サントリー学芸賞、日経・経済図書文化賞などを受賞。著書に、『医療現場の行動経済学』『実践 医療現場の行動経済学』(東洋経済新報社)のほか、近著『行動経済学の処方箋』(中公新書)をはじめ『競争と公平感』『競争社会の歩き方』(共に中公新書)『行動経済学の使い方』(岩波新書)『あなたを変える行動経済学』『いまずくてできる実践行動経済学』(東京書籍)など多数。

地域未来創生政策科学研究会は、弘前大学人文社会科学部地域未来創生センターと青森県企画政策部が共催する、政策科学に関する連続研究会です。2018年4月に開始し、本年度で6年目を迎えます。本研究会の主な目的は、政策に関する学術的知見を幅広く提供するとともに、政策の現場における実情や課題、これまでの成果について情報交換を行うことです。さらに、将来的には大学教員と県職員の共同研究を促進し、地域における政策研究の発展を目指しています。

本年度は「人口減少対策」と「EBPM (Evidence-Based Policy Making: 証拠に基づく政策立案)」をテーマに研究会を実施してきました。本フォーラムでは、大阪大学特任教授の大竹文雄氏をお招きし、最先端の行動経済学とEBPMについて学びます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第1部 基調講演 14:30~15:30 「健康・医療の行動経済学とEBPM」

大竹文雄(大阪大学感染症総合教育研究拠点 特任教授)

第2部 自由討論 15:30~16:20

進行 李永俊(弘前大学人文社会科学部 教授)

**参加
無料
申込不要**